

第23回市民との意見交換会の市民意見の整理及び検討結果

分科会名：政策討論会第2分科会（生活環境、健康福祉、教育文化に関すること）

<議会として課題とすべき内容>

①市民への災害情報の提供のあり方について

台風19号の際の『警戒レベル4：避難勧告』というメールや、災害対策本部から各地区区長会長への連絡について、市民や区長会長がどのように行動し、対応すべきなのかをめぐって、各地区でさまざまな意見や疑問が出された。災害情報を市民に迅速かつ的確に伝える手段を改めてわかりやすく整理し、十分に周知することが求められている。

【主な意見】

- ・台風19号では区長会長である私には環境生活課から連絡がきたが、すべての区長に対する連絡体制はどのようになっているのか。（行仁地区）
- ・防災緊急メールで避難勧告が出たが、危険個所とはどの場所を言っているのかよくわからないため、地域住民に説明できない。（一箕地区）
- ・台風19号の避難勧告では、避難を判断する材料が欲しかった。避難所の条件や情報もないため、避難する、しないの判断ができなかった。（東山地区）

<市民意見の傾向>

(1)地区別テーマによる市民意見

- ・河東地区ではテーマを「福祉とまちづくり」とした。
- ・一箕地区ではテーマを「地域における暮らしに関連する諸問題」とした。
- ・行仁地区ではテーマを「コミュニティセンターを中心とした地域づくりと除排雪のあり方」とした。
- ・町北・高野地区ではテーマを「少子高齢化対策と地域づくり」とした。
- ・北会津地区ではテーマを「公園のあり方（公共空間の維持管理）」とした。
- ・謹教地区ではテーマを「謹教地区における中心市街地の活性化」とした。
- ・神指地区ではテーマを「神指地区における災害への対応」とした。
- ・門田地区ではテーマを「子ども子育て支援（南公民館チャレンジキッズを通じた支援のあり方）」とした。
- ・東山地区ではテーマを「子ども子育て支援（小学校・中学校を核にした地域づくり）」とした。
- ・大戸地区ではテーマを「子ども子育て支援（子どもを産み育てることのできる支援のあり方）」とした。

<市民意見の傾向>

(2)地区別テーマ以外での市民意見

・災害対応、防災対策、自主防災組織に関すること	29件
・交通安全対策に関すること	7件
・児童福祉に関すること	3件
・その他	17件
合計	56件